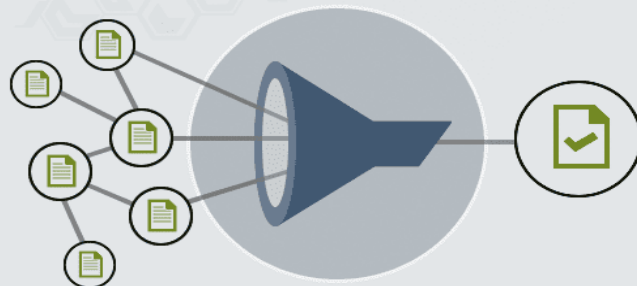


**Active Directory
管理ツール**



スタートアップガイド

ManageEngine 
ADManager Plus

2024年 改訂

目次

1 はじめに.....	5
1-1 ManageEngine ADManager Plusについて.....	5
1-2 本ガイドについて.....	5
1-3 本書の目的と対象読者.....	5
1-4 ADManager Plusの動作環境.....	6
ハードウェア.....	6
OS.....	6
Webブラウザ.....	6
1-5 ライセンス.....	7
2 ADManager Plusのインストール.....	8
2-1 ADManager Plusのダウンロード.....	8
2-2 ADManager Plusのインストール手順.....	8
2-3 アンインストール.....	12
3 ADManager Plusの起動と停止.....	13
3-1 起動.....	13
Windowsサービスとして起動.....	13
アプリケーションとして起動.....	14
3-2 停止.....	15
Windowsサービスとして起動していた場合.....	15
アプリケーションとして起動していた場合.....	15
4 ADManager Plusの初期設定.....	16
4-1 ADManager Plusへのアクセス.....	16
4-2 管理するドメインの追加.....	17

5 Active Directoryの管理.....	20
5-1 シングルユーザーの作成.....	20
5-2 テンプレートの設定.....	22
5-3 CSVとテンプレートによる複数ユーザーの一括作成.....	25
6 Active Directoryのレポート.....	28
6-1 レポートの作成.....	28
6-2 レポートのエクスポート.....	29
6-3 レポート結果からオブジェクト属性を一括操作.....	30
7 各タブの解説.....	33
7-1 ホームタブ.....	33
7-2 AD管理タブ.....	34
7-3 レポートタブ.....	35
7-4 Microsoft 365タブ.....	36
7-5 委任タブ.....	37
7-6 ワークフロータブ.....	38
7-7 自動化タブ.....	39
7-8 管理タブ.....	40
7-9 バックアップタブ.....	41
8 トラブルシューティング.....	42
9 お問い合わせ.....	43
評価版サポート.....	43
製品ご購入後のサポート.....	43

■著作権について

本ガイドの著作権は、ゾーホージャパン株式会社が所有しています。

■注意事項

本ガイドの内容は、改良のため、予告なく変更することがあります。ゾーホージャパン株式会社は本ガイドに関しての一切の責任を負いかねます。当社はこのガイドを使用することにより引き起こされた偶発的もしくは間接的な損害についても責任を負いかねます。

■商標一覧

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Windows は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corp. の登録商標です。

ManageEngine は、ZOHO Corporation Pvt.Ltd社の登録商標です。

なお、本ガイドでは、(R)、TM表記を省略しています。

1 はじめに

1-1 ManageEngine ADManager Plusについて

ManageEngine ADManager Plusは、Microsoft Windows Active Directoryを効率よく管理するための機能を集めたActive Directory統合管理ツールです。標準のActive Directory管理ツール群がもつ多くの機能をひとつのWebインターフェイスから操作でき、標準ツールには無いさまざまな機能をプログラミングやスクリプティングの知識なしで簡単に使用できます。

また、Active Directoryと統合されたExchange Serverの属性やメールボックスの管理、およびMicrosoft 365の管理もADManager PlusのWebインターフェイスから実施できます。

1-2 本ガイドについて

本ガイドでは、ADManager Plusのインストール方法から初期設定の内容について説明しています。ADManager Plus製品のインストールから実際にActive Directoryの管理を開始するまでの流れ、Active Directoryオブジェクトを実際に一括管理する手順、Active Directoryに関するレポートを出力する手順といった、ADManager Plusの基礎的な利用方法についてステップ・バイ・ステップでわかりやすく説明しています。

なお、本ガイドはビルド7231をもとに作成しています。

1-3 本書の目的と対象読者

本ガイドは、ADManager Plusを購入された方やこれから評価版を試用される方がADManager Plusの概要を理解し、製品に慣れるための手がかりとなることを目的としています。

なお、本ガイドでカバーしている範囲はADManager Plusの基本的な操作方法です。ADManager Plusには、ワークフローや自動化など、本ガイドでは扱っていない数多くの機能が用意されています。

1-4 ADManager Plusの動作環境

ADManager Plusをご利用いただくためには、以下の条件を満たすデバイスが必要です。

ハードウェア

- CPU : 2.4 GHz 以上およびマルチコア
- メモリ : 6 GB以上
- ストレージ : 50 GB以上

OS

- Windows10
- Windows11
- Windows Server 2016
- Windows Server 2019
- Windows Server 2022

*クライアントOSは評価目的のみで利用可能です。本番環境ではサーバーOSをご利用ください。

Webブラウザ

- Microsoft Edge (Chromium版)
- Mozilla Firefox
- Google Chrome

推奨解像度は1,366 × 768ピクセル以上です。

補足

ADManager Plusは、ドメインコントローラー以外のデバイス（管理対象ドメインに参加しているメンバーサーバーまたは参加していないサーバー）にもインストールしていただけます。該当デバイスが[こちらのページ](#)に記載しているポート要件を満たしていることをご確認ください。

1-5 ライセンス

ライセンスの詳細は、[こちらのページ](#)をご参照ください。

2 ADManager Plusのインストール

ADManager Plusのインストーラー入手からインストールまでの流れを説明します。

2-1 ADManager Plusのダウンロード

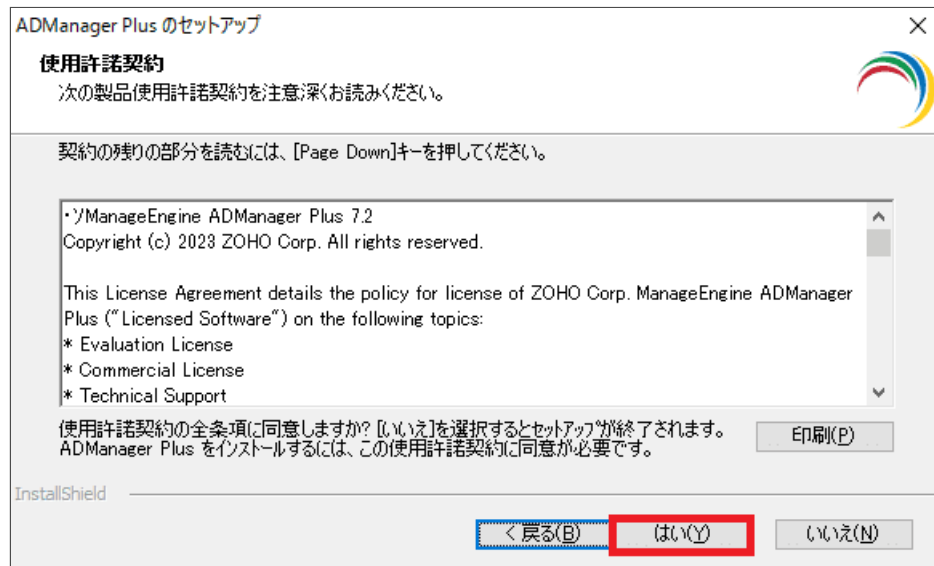
[こちらのページ](#)にアクセスしていただき、評価版のインストーラーをダウンロードします。

2-2 ADManager Plusのインストール手順

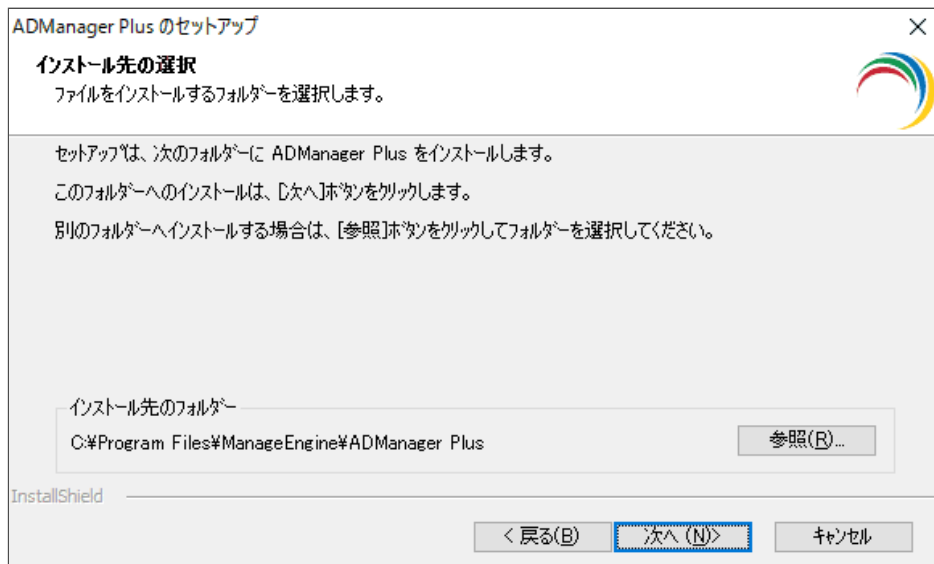
1. ADManager Plusをインストールするデバイスに、ローカル管理者の権限を持つユーザーでログオンします。
2. ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックして起動します。
3. インストール画面が表示されるので「次へ」をクリックします。



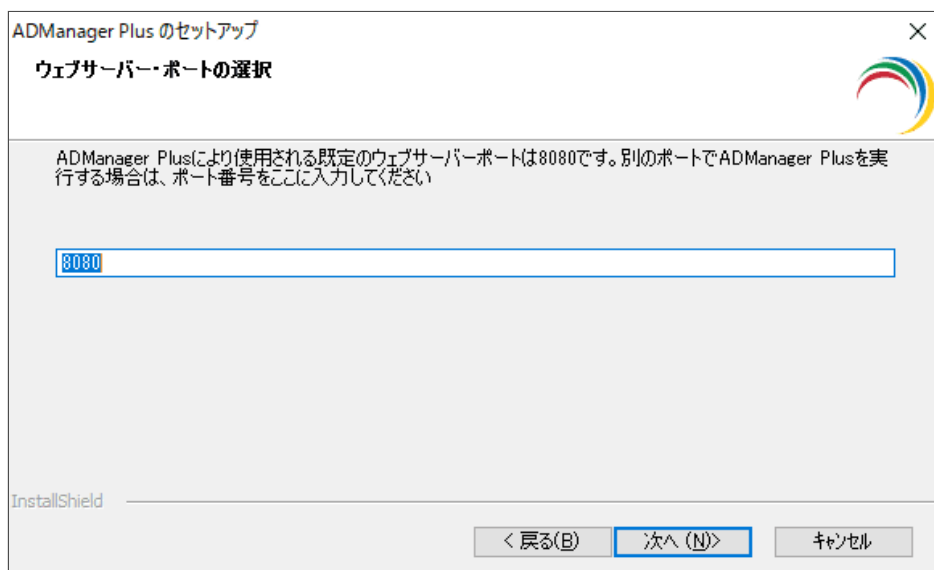
4. ライセンス条項を承諾後、「はい」をクリックします。



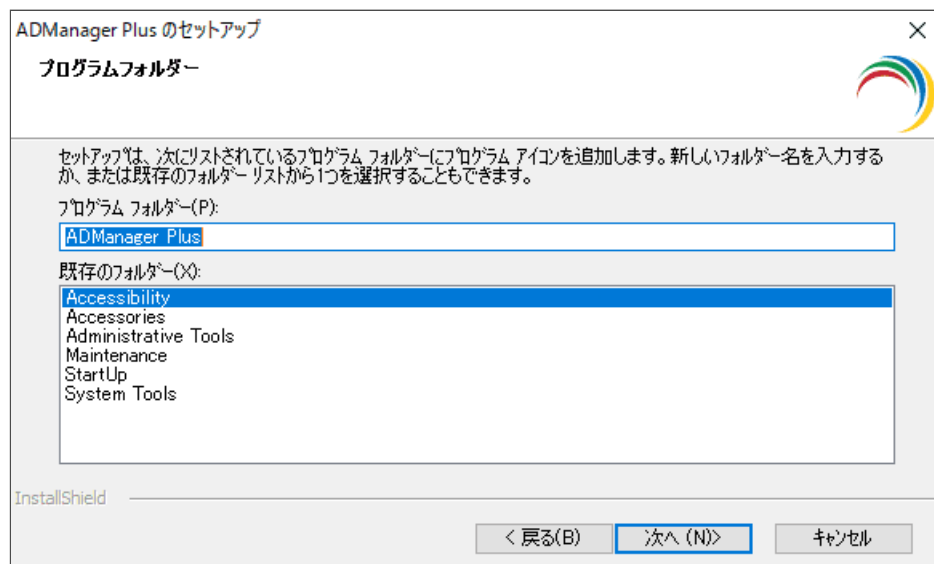
5. インストールディレクトリを選択します。デフォルトは「C:\Program Files\ManageEngine\ADManager Plus」です。



6. Webサーバーのポート番号を入力します。デフォルトは「8080」です。



7. フォルダの設定ができます。変更しない場合、[次へ]をクリックします。



8. お客様情報を入力します（任意）。入力しない場合、[スキップ]をクリックします。

ADManager Plus のセットアップ

英語技術サポートへの登録(任意)
あなたの詳細を以下に入力してください

名前

Eメールアドレス

電話番号

会社名

国

「戻る」をクリックしてください。 [個人情報保護方針](#)

< 戻る **次へ >** スキップ

9. ADManager Plusをインストールするかを決定します。インストールする場合、[次へ] をクリックします。

ADManager Plus のセットアップ

インストールを始める
設定を確認してインストールを開始する

セットアップには、インストールを始めるための十分な情報があります。変更を行うためには、「戻る」をクリックしてください。「次へ」をクリックしてインストールを開始します。

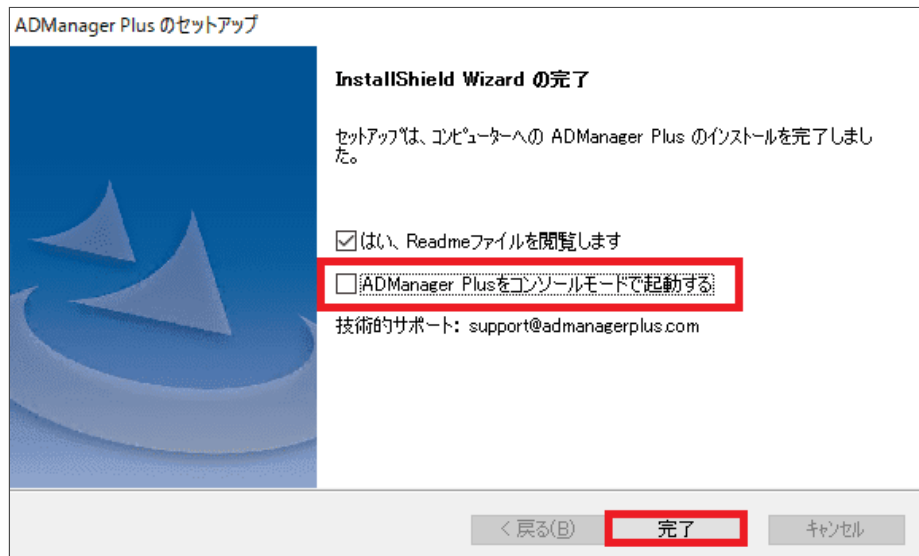
現在の設定:

インストール・ディレクトリ: C:\Program Files\ManageEngine\ADManager Plus
利用できるディスク領域: 186183MB

InstallShield

< 戻る(B) **次へ (N) >** キャンセル

10. インストールの完了です。「ADManager Plusをコンソールモードで起動する」のチェックを外し、[完了] をクリックします。



11. 本ガイドの[Windowsサービスとして起動](#)を参照し、Windowsサービスとしてインストール・起動します。

各チェックボックスの詳細

- 「はい、Readmeファイルを閲覧します」：リリース情報が記載されたページ（英語版）が開きます。
- 「ADManager Plusをコンソールモードで起動する」：ADManager Plusがアプリケーションとして起動します。

補足

ADManager Plusを「アプリケーションとして起動」した場合、ユーザーがADManager PlusサーバーからログオフするとADManager Plusは停止します。

ADManager Plusを「Windowsサービスとして起動」した場合、ユーザーがADManager Plusサーバーからログオフしている状態でも、ADManager Plusは起動した状態を維持できます。

2-3 アンインストール

1. [コントロールパネル] → [プログラムと機能] を開きます。
2. ADManager Plusを選択し、[アンインストール] をクリックします。
3. 画面の指示に従い、アンインストール作業を進めます。

3 ADManager Plusの起動と停止

3-1 起動

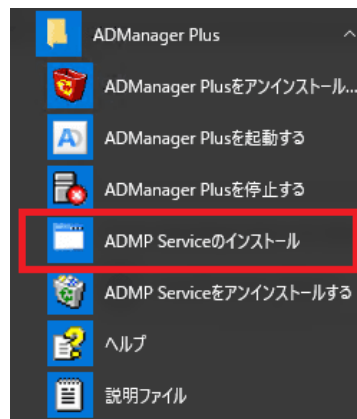
以下、2とおりの起動方法があります。

- [Windowsサービスとして起動（推奨）](#)
- [アプリケーションとして起動](#)

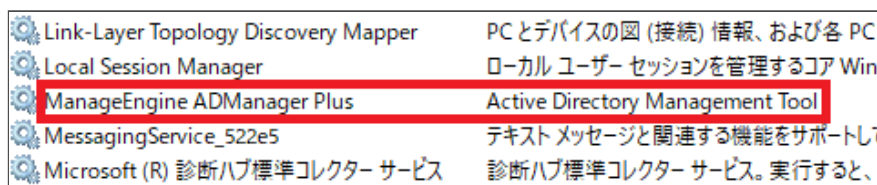
Windowsサービスとして起動することを推奨します。 Windowsサービスとして起動することで、ユーザーがADManager Plusサーバーからログオフしている状態でも、ADManager Plusは起動した状態を維持できます。

Windowsサービスとして起動

1. [スタート] メニュー → [ADManager Plus] → [ADMP Serviceのインストール] をクリックし、ADManager PlusをWindowsサービスとしてインストールします。



2. サービス（services.msc）を開き、[ManageEngine ADManager Plus] をダブルクリックします。



3. [スタートアップの種類] から [自動] を選択し、[適用] をクリックします。

実行ファイルのパス:	
"C:%ManageEngine%ADManager Plus%bin%wrapper.exe" -s "C:%ManageEngine%	
スタートアップの 種類(E):	自動

4. サービスの状態の「開始」をクリックします。

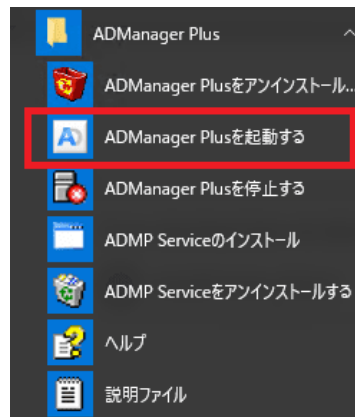
サービスの状態:	停止		
開始(S)	停止(T)	一時停止(P)	再開(R)

5. ManageEngine ADManager Plusサービスが起動します。

上記手順を実行後は、ADManager Plusをインストールしたサーバーを起動すると、ADManager Plusも自動的に起動します。

アプリケーションとして起動

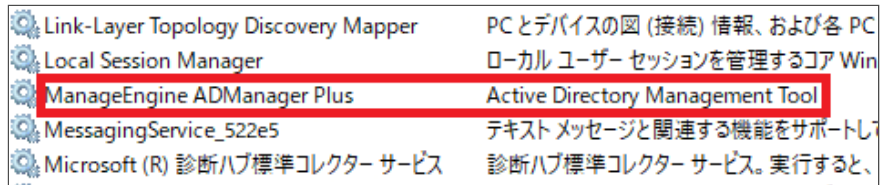
「スタート」メニュー → 「ADManager Plus」 → 「ADManager Plusを起動する」をクリックします。



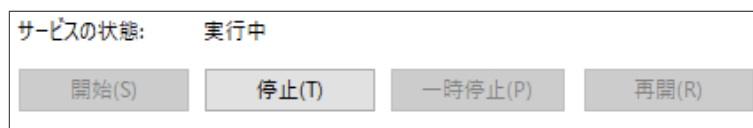
3-2 停止

Windowsサービスとして起動していた場合

1. サービス（services.msc）を開き、[ManageEngine ADManager Plus] をダブルクリックします。

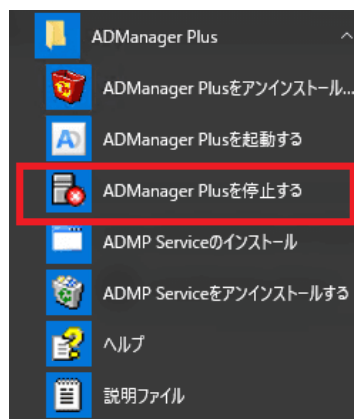


2. [サービスの状態] の [停止] をクリックします。



アプリケーションとして起動していた場合

[スタート] メニュー → [ADManager Plus] → [ADManager Plusを停止する] をクリックします。



4 ADManager Plusの初期設定

ADManager Plusを使用してActive Directoryドメインを管理するために必要な設定の流れを説明します。

4-1 ADManager Plusへのアクセス

1. Webブラウザを起動します。
2. **http://[ホスト名]:[ポート番号]**にアクセスします。
例： **http://admp-server:8080**（デフォルトのポート番号は「8080」です）
3. ユーザー名/パスワードとして**admin**と入力し [ログイン] をクリックします（ [ログオン先] では [ADManager Plus の認証] を選択した状態のままにします）。



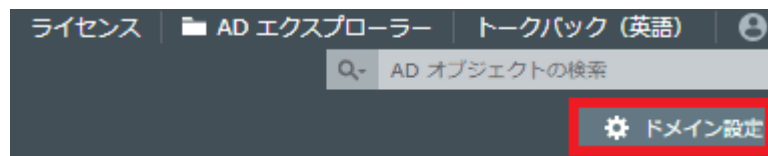
補足

- AWS MarketplaceからADManager Plusを購入された場合、管理者アカウントの初期パスワードはAWSのインスタンスIDです。
- 上記手順でリモートデバイスで起動しているADManager Plusにアクセスできない場合、ADManager Plusが起動しているデバイスのWebブラウザから、**http://localhost:8080**にアクセスできるかをご確認ください。

4-2 管理するドメインの追加

1. ADManager Plusにログイン後、以下の画面が表示されます。

表示されない場合、画面右上にある「ドメイン設定」をクリックします。



2. ドメインおよびすべてのドメインコントローラーを登録します。ドメイン名を入力後「今すぐ検出」をクリックします。

管理対象のActive Directoryで使用するすべてのドメインコントローラーを登録してください。

3. ドメインコントローラーを追加するポップアップ画面が表示されます。下図のように目的のドメインコントローラーが検出されている場合は、チェックボックスにチェックを入れ、「追加」をクリックします。

ドメインコントローラを追加する ×

ドメイン コントローラを検出するにはこちらをクリックします

<input checked="" type="checkbox"/>	ドメイン コントローラ名
<input checked="" type="checkbox"/>	IDM2020.idm.me

追加 キャンセル

4. ドメインコントローラが検出されない場合、次のポップアップ画面が表示されます。

ドメインコントローラを追加する ×

ドメイン コントローラを検出するにはこちらをクリックします

ドメイン コントローラを検出できません。以下にドメイン コントローラ名を入力してください

ドメイン コントローラ名

複数のDCを入力する場合はコンマ（,）で区切ってください

トラブルシューティングのヒント

- ドメイン コントローラ名に IP アドレスは使用できません
- このドメインとそのドメイン コントローラに適切な DNS サーバーが設定されていることを確認してください
- マシンからドメインまたはドメイン コントローラへの ping の疎通があることを確認してください
- このマシンとドメイン コントローラ間の接続がファイアウォールなどでブロックされていないか確認してください

追加 キャンセル

以下のいずれかの方法で、すべてのドメインコントローラを追加してください。

- 「ドメインコントローラを検出するにはこちらをクリックします」のリンクをクリックして自動検出を再試行する。
- 「ドメインコントローラ名」のテキストボックスにドメインコントローラ名を入力して「追加」をクリックする。

＊追加に失敗する場合、ドメインコントローラ名に対して名前解決ができるか、および、ドメインコントローラへのネットワーク接続が正常であることをご確認ください。

5. 「認証」にチェックを入れ、「ドメインのユーザー名」および「パスワード

ド] にActive Directoryドメイン管理者（Domain Admins）の資格を持ったユーザーの情報を入力します。すべてを入力後、[更新] をクリックします。

補足

- [ドメインのユーザー名] は「ドメイン名\ユーザー名」の形式で入力してください（例：example\administrator）。
- ADManager Plusは複数のドメインを管理できます。複数のドメインを管理するためには、すべてのドメインを一つずつ追加してください。
- ログイン後、以下のメッセージが表示される場合があります。
 - セキュリティスコアに関するメッセージ：ADManager Plus独自のセキュリティレベルの指標にもとづいて、設定を促すためのメッセージです。
 - パスワード変更を促すメッセージ：デフォルト管理者アカウントのパスワード変更を促すためのメッセージです。

5 Active Directoryの管理

ADManager Plusの基本操作を紹介します。

紹介する操作

- [5-1 シングルユーザーの作成](#)
- [5-2 テンプレートの設定](#)
- [5-3 CSVとテンプレートによる複数ユーザーの一括作成](#)

補足

- **本章で行う操作はActive Directoryに反映されます。** 本番環境でテストする際には、実行しても問題がないことを確認してから手順を進めてください。
- ADManager Plusは、評価版・製品版を問わず、管理可能なActive Directoryのオブジェクト数に制限を設けておりません。

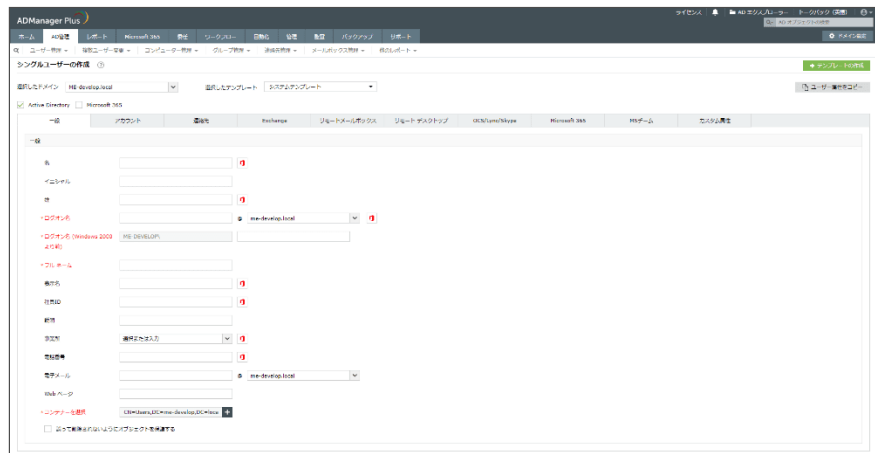
5-1 シングルユーザーの作成

ADManager Plusでユーザー（1つのActive Directoryユーザーオブジェクト）を作成する方法を説明します。

1. adminアカウントとしてADManager Plusにログインします。
2. [AD管理] タブをクリックします。
3. 左側のメニューで[ユーザー管理]が選択されていることを確認し、[シングルユーザーの作成]をクリックします。



ユーザー作成用の画面が表示されます。



上画面では、「Active Directoryユーザーとコンピューター」スナップイン上の項目以外にも設定できます（例：社員ID、電話番号、住所等の連絡先、Exchangeのメールボックス、有効期限、リモートデスクトップなど）。

また、デフォルト設定では、「姓」と「名」を入力時、「ログオン名」「ログオン名（Windows 2000より前）」「フルネーム」「表示名」「電子メール」が自動入力されます。

一般	アカウント	連絡先	Exchange	リモートメールボックス
一般				
名	Taro			
イニシャル				
姓	Suzuki			
*ログオン名	TaroSuzuki	@ me-develop.local		
*ログオン名 (Windows 2000より前)	ME-DEVELOP\	TaroSuzuki		
*フルネーム	TaroSuzuki			
表示名	TaroSuzuki			
社員ID				
説明				
事業所	選択または入力			
電話番号				
電子メール	TaroSuzuki	@ me-develop.local		
Web ページ				
*コンテナーを選択	CN=Users,DC=me-develop,DC=loca			
<input type="checkbox"/> 誤って削除されないようにオブジェクトを保護する				

4. 必要な項目をすべて入力後、[作成] ボタンをクリックします。
5. Active Directoryにユーザーが作成されていることを確認します。

5-2 テンプレートの設定

テンプレートを作成することで、オブジェクト（ユーザー・グループ・コンピューター・連絡先など）作成時に毎回同じ値（例：会社名など）を入力する手間を省けます。

テンプレートは作成するオブジェクト（ユーザーやコンピューター）と用途（作成/変更）によって別々に管理されており、それぞれ複数のテンプレートを作成できます。なお、ADManager Plusには、デフォルトでサンプルのテンプレート（「システムテンプレート」など）が登録されています。サンプルのテンプレートは直接変更またはコピー後に変更できます。

＊デフォルトのテンプレートである「システムテンプレート」は変更できません。

ユーザー作成用のテンプレートを設定する際には以下の手順をご参照ください。

- [テンプレートの作成手順](#)
- [テンプレートの編集手順](#)
- [テンプレートの保存手順](#)
- [命名フォーマットの適用手順](#)

テンプレートの作成手順

1. [AD管理] タブ → [ユーザー管理] → [ユーザーの作成テンプレート] をクリックします。テンプレートの一覧が表示されます。
2. 画面右上の [+テンプレートの作成] をクリックします。
3. 新規作成するテンプレートを使用してユーザーを作成する際に、すべてのユーザーに共通で設定する項目を入力します。下図の例では「部署」と「会社名」を入力しています。

役職	選択または入力	▼
部署	技術部	▼
会社名	ソーホージャパン株式会社	▼
上司		+

*「役職」「部署」「事業所」「会社名」は、[管理] タブ → [カスタム設定] → [組織属性] にて事前に設定できます。事前に設定することで、テンプレートやオブジェクトの作成/変更時に、事前設定された値をドロップダウンから選択できます。

テンプレート項目の編集手順

例として「アカウント」タブページが完全に不要であるとします。「アカウント」タブを削除するためには以下の手順を実施してください。

1. テンプレート作成画面の右上にある、[ドラッグ・アンド・ドロップを有効化] ボタンをクリックします。画面左側に「フィールドトレイ」が表示されます。

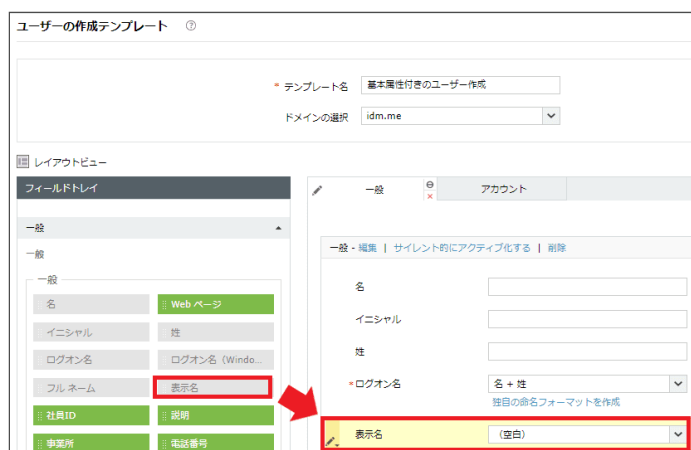
The screenshot shows the 'ユーザーの作成テンプレート' (User Creation Template) interface. At the top, there are fields for 'テンプレート名' (Template Name) set to '基本属性付きのユーザー作成' and 'ドメインの選択' (Domain Selection) set to 'idm.me'. Below this, the 'レイアウトビュー' (Layout View) is active, showing a 'フィールドトレイ' (Field Tray) on the left with a list of fields: '一般' (General), '一般' (General), '一般' (General), and '名' (Name). The '名' field is highlighted. On the right, the 'アカウント' (Account) tab is selected, showing a field for '名' (Name) with a yellow background. At the bottom right, there are buttons for '一般 - 編集' (General - Edit), 'サイレント的にアクティブ化する' (Silently activate), and '削除' (Delete).

2. 「アカウント」タブをクリックし、右下に表示される [削除ボタン (xマーク

ク)] をクリックします。



3. 確認メッセージが表示されたのち、[OK] をクリックします。[アカウント] タブが削除されます。削除されたタブはフィールドトレイに格納されます。



補足

- 削除した属性を再度テンプレートに配置する場合は、フィールドトレイからドラッグ&ドロップしてください。
- タブを追加する場合は、タブ右端の [+] から追加できます。

4. テンプレートの配置/項目の編集が完了後、[ドラッグ・アンド・ドロップを無効化] をクリックして、テンプレート作成画面に戻ります。

*テンプレートから削除された項目の値は、ADManager Plusのオペレーター（製品ユーザー）が追加/変更できなくなります。一方、削除せずに空白値のまま残された項目は、テンプレート利用の際に何も入力されていない状態で表示されるので、オペレーター（製品ユーザー）は任意の値を入力できます。

テンプレートの保存手順

1. テンプレートに関する作業が完了後、「テンプレート名」「説明（任意）」「適用先のドメイン」を指定します。
2. [テンプレートを保存] をクリックします。

命名フォーマットの適用手順

「命名フォーマット」とは、ユーザー作成/変更時に「ログオン名」を入力/変更することでその他の項目も自動的に入力できる機能です。「ログオン名」を入力/変更することで自動入力できる項目は以下のとおりです。

命名フォーマットの詳細および作成方法は[こちらのページ](#)をご参照ください。

5-3 CSVとテンプレートによる複数ユーザーの一括作成

複数のユーザーを一括で作成する方法を説明します。

CSVファイルの準備

CSVファイルには、さまざまなLDAP属性を記述できます。例えば、LDAP属性「mail」の値を記入したCSVファイルを使用することで、複数ユーザーの作成時にメールアドレスを一括で設定したり、既存ユーザーのメールアドレスを一括で変更したりできます。

CSVファイルの作成には以下のルールがあります。

CSVファイル作成時のルール

- 1行目には、LDAP属性名を入力する。
- 2行目以降には、1行目のLDAP属性名に対応した値を入力する。

例として「姓」と「名」のみ含むCSVファイルを以下に記載します。「姓」のLDAP属性：「sn」および「名」のLDAP属性：「givenName」を使用しています。

CSVファイル作成例

sn,givenName

Suzuki,Taro

Kobayashi,Hana

Smith,John

上記のCSVには、3人のユーザー（Taro Suzuki、Hana Kobayashi、John Smith）の情報（「姓」および「名」）が記載されています。

補足

- CSVファイルを作成するにあたり、使用するツール（テキストエディタや表計算ソフトなど）は問いません。
- 必ずCSVフォーマットで保存してください。また、CSVファイルを作成時に、指定した文字コードも把握してください。文字コードはUTF-8を推奨します。

CSVとテンプレートから複数ユーザーの作成

1. adminアカウントとしてADManager Plusにログインします。
2. [AD管理] タブをクリックします。
3. 左側のメニューで[ユーザー管理]が選択されていることを確認し、[複数ユーザーの作成]をクリックします。

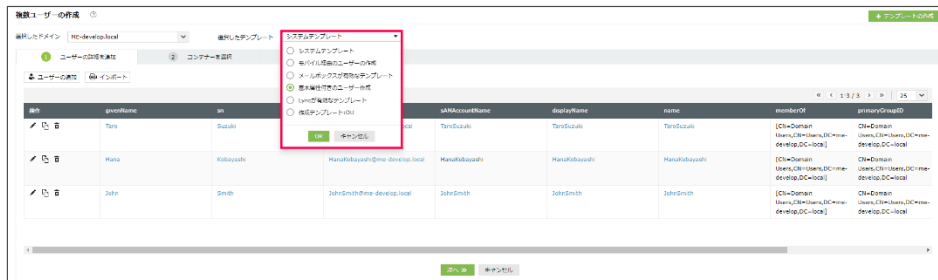


4. 複数ユーザー作成用の画面が表示されます。CSVファイルから一括登録する場合、[インポート] ボタンをクリックします。[ユーザーの追加] をクリックすることで、複数ユーザーを手動で追加することもできます。
5. 表示された画面上の[参照] ボタンをクリックし、あらかじめ作成したCSVファイルを指定します。
6. CSVファイルの指定後、[ファイルのエンコーディング] にて適切な文字コードを選択します（デフォルトでは「UTF-8」が選択されています）。
7. [インポート] をクリックします。CSVファイルに格納されているユーザー情報が読み込まれ、以下のようにリスト表示されます。

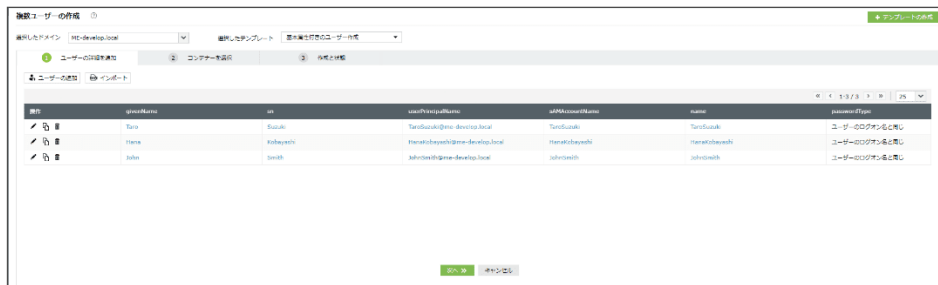
選択	名前	姓	ユーザー名	パスワード	パスワード確認	パスワード	パスワード確認
<input type="checkbox"/>	john	Smith	johnsmith@dev.local	JohnSmith123	JohnSmith123	JohnSmith123	JohnSmith123
<input type="checkbox"/>	jane	Smith	janesmith@dev.local	JaneSmith123	JaneSmith123	JaneSmith123	JaneSmith123
<input type="checkbox"/>	john	Smith	johnsmith@dev.local	JohnSmith123	JohnSmith123	JohnSmith123	JohnSmith123

8. [選択したテンプレート] にて、あらかじめ作成したテンプレートを選択

し、[OK] をクリックします。



選択したテンプレートの情報をもとに、表示されるデータが変更されます。



9. [次へ] をクリックします。

10. 追加するユーザーを所属させるコンテナ/組織単位（OU）を選択し、[ユーザー作成] をクリックします。



CSVで指定したユーザーが作成され、作成結果がリスト表示されます。



6 Active Directoryのレポート

ADManager Plusでは、Active Directoryに関連したレポートを多く用意しています。これらのレポートは画面に表示するだけでなく、出力結果をPDF・CSV・XLSX・HTMLなどの形式にエクスポートしたり、出力されたレポートのデータ（属性など）に対して一括変更したりできます。

本章では以下の操作を説明します。

紹介する操作

- [6-1 レポートの作成](#)
- [6-2 レポートのエクспорт](#)
- [6-3 レポート結果からオブジェクト属性を一括操作](#)

6-1 レポートの作成

例として「最近作成されたユーザー」レポートの作成手順を説明します。本レポートは、指定日数内にActive Directoryに作成されたユーザーを表示します。なお、他のレポートも、本手順と同様に作成することができます。

レポートの作成手順は以下のとおりです。

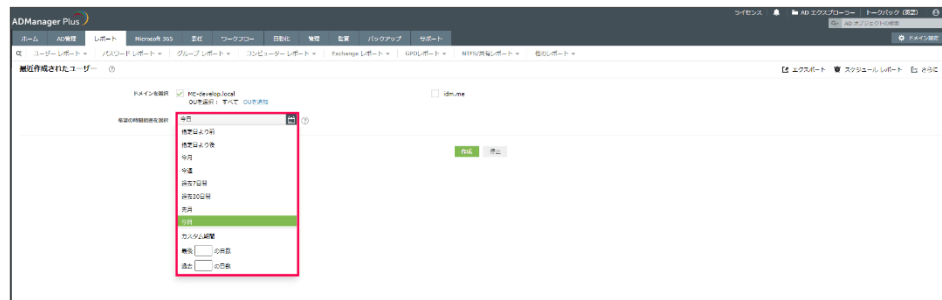
1. [レポート] タブの [ユーザーレポート] にて、[最近作成されたユーザー] をクリックします。



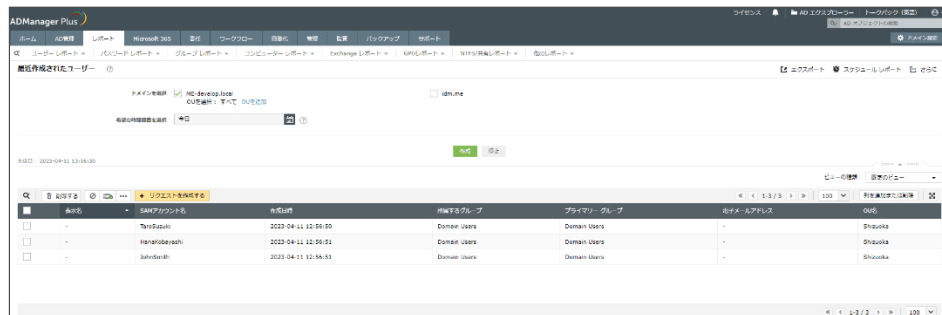
2. 次の情報を入力します。

- [ドメインを選択] にて、レポートを作成する対象のドメインにチェックを入れます。
- [OUを追加] リンクからレポートの対象となる単数/複数のコンテナを指定します。OUを指定しない場合は、ドメイン全体がレポート出力の対象になります。
- [希望の時間範囲を選択] にて、ユーザーが作成された任意の期間を

指定します（〔カスタム期間〕にて、特定の日付範囲を指定することもできます）。



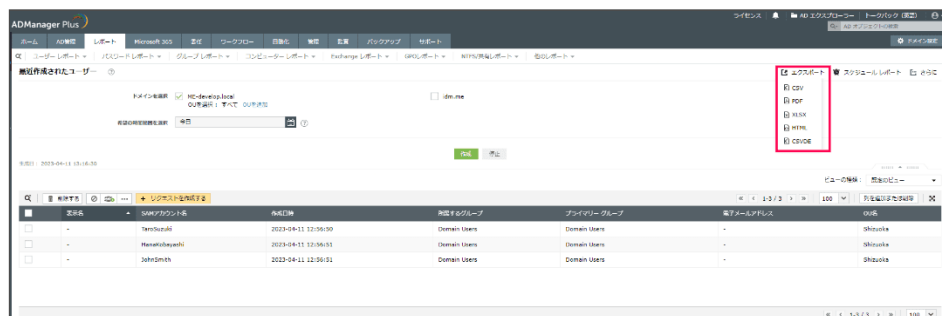
3. 〔作成〕ボタンをクリックします。レポートが生成されます（Active Directoryから取得した、オブジェクトの最新情報が表示されます）。



6-2 レポートのエクスポート

作成したレポートを各形式（PDF/HTML/XLSX/CSV/CSVDE）にエクスポートできます。手順は以下のとおりです。

1. 〔レポート〕タブページの右上にある〔エクスポート〕をクリックします。



2. レポートを出力する形式をクリックします。ご利用のWebブラウザの設定にしたがって、レポートファイルのダウンロードが始まります。

補足

CSVまたはCSVDE形式でエクスポートした場合、最初の列に「シリアル番号」という列が作成されます。該当列を含めたくない場合、画面右上の「さらに」→「設定をエクスポート」をクリック後の画面で「高度」→「シリアル番号を入れる」オプションのチェックを外して「保存」をクリックしてください。



6-3 レポート結果からオブジェクト属性を一括操作

レポートに出力されたオブジェクトに対してさまざまな操作を実施できます。

例として、前のセクション（[6-1 レポートの作成](#)）で作成した「最近作成されたユーザー」のレポート結果をもとに、ユーザーの会社名と所属するグループを変更する手順を説明します。

1. [6-1 レポートの作成](#)を参照し、「最近作成されたユーザー」レポートを作成します。
2. 「表示名」列の左側にある列で、操作を実施する対象のユーザーにチェックを入れます。

生成日: 2024-04-08 16:46:35

表示名	SAMアカウント名	作成日時	所属するグループ	プライマリグループ
daikisato	daikisato	2024-04-04 14:39:08	Domain Users;みなとみらい_ADMPオペレーターグループ;kamitest「みなとみらい」	Domain Users
demo999	demo999	2024-04-04 15:46:51	Domain Users;kamitest「みなとみらい」	Domain Users
test_ayako	test_ayako	2024-04-04 10:05:45	Domain Users;kamitest「みなとみらい」	Domain Users

3. 「操作オプション」ボタン（三点リーダー）をクリックして表示されるプルダウンメニューから、「一般属性」内にある「住所/組織の変更」を選択します。

操作オプションメニュー:

- ユーザーの移動
- ホームフォルダーの移動/削除
- ログオン時間
- ユーザーの有効化/無効化
- ユーザーの削除
- Skype (Lync) ユーザーを有効/無効化する
- Skype ポリシーの変更
- 連絡先の属性
- 住所/組織の変更**

4. 「実行」をクリックします。
5. 表示されるユーザーの住所/属性を変更するフォームにて、下図のように、「会社名」にチェックを入れ、会社名を入力します。なお、あらかじめ設定された会社名がある場合は、ドロップダウンより会社名を選択してください。

ユーザーの住所/組織属性を変更

☐ 役職 さらに職名を追加

☐ 郵便 さらに所属部署を追加

☒ 会社名

☐ 上司

☐ 番地

☐ 電話番号

☐ 市町村

☐ 都道府県

☐ 郵便番号

☐ 国

6. 操作対象のユーザーにチェックを入れ、「適用」をクリックします。変更内容とその結果が表示されます。

フルネーム	ログイン名	役職	部署	会社名	上司	ドメイン名	SAMアカウント名	メッセージ
daikisato	daikisato@me-develop.local	-	-	ソーホージャパン株式会社	-	me-develop.local	daikisato	変更しました
demo999	demo999@me-develop.local	-	-	ソーホージャパン株式会社	-	me-develop.local	demo999	変更しました
test_ayako	test_ayako@me-develop.local	-	-	ソーホージャパン株式会社	-	me-develop.local	test_ayako	変更しました

7. ユーザーのグループを変更するためには、同画面上の「操作オプション」をクリックします。
8. 下図のように「一般属性」と「グループの属性」を選択し、「続行」をクリックします。

ユーザーの住所/組織属性を変更 

概要ビュー


会社名 : ゾーホージャパン株式会社

操作オプション▼

カテゴリーの選択: **一般属性** 操作: **グループの属性** **続行**

フルネーム	ログオン名	役職	部署	会社名	
daikisato	daikisato@me-develop.local	-	-	ゾーホージャパン株式会社	-
demo999	demo999@me-develop.local	-	-	ゾーホージャパン株式会社	-
test_ayako	test_ayako@me-develop.local	-	-	ゾーホージャパン株式会社	-

9. 最上部「グループに追加」の「+」ボタンをクリックします。

ユーザーのグループ属性の変更 

グループに追加 **+**

グループから削除 **+** ☐ すべてのグループメンバーをクリア

プライマリグループの設定 **+**

適用

10. 表示されたポップアップ画面にて、ユーザーを所属させるグループを選択（複数選択可）し、「OK」をクリックします。

11. 操作対象のユーザーにチェックを入れ、「適用」をクリックします。適用結果がリスト表示されます。

概要ビュー

グループに追加 : 25,16

操作オプション▼

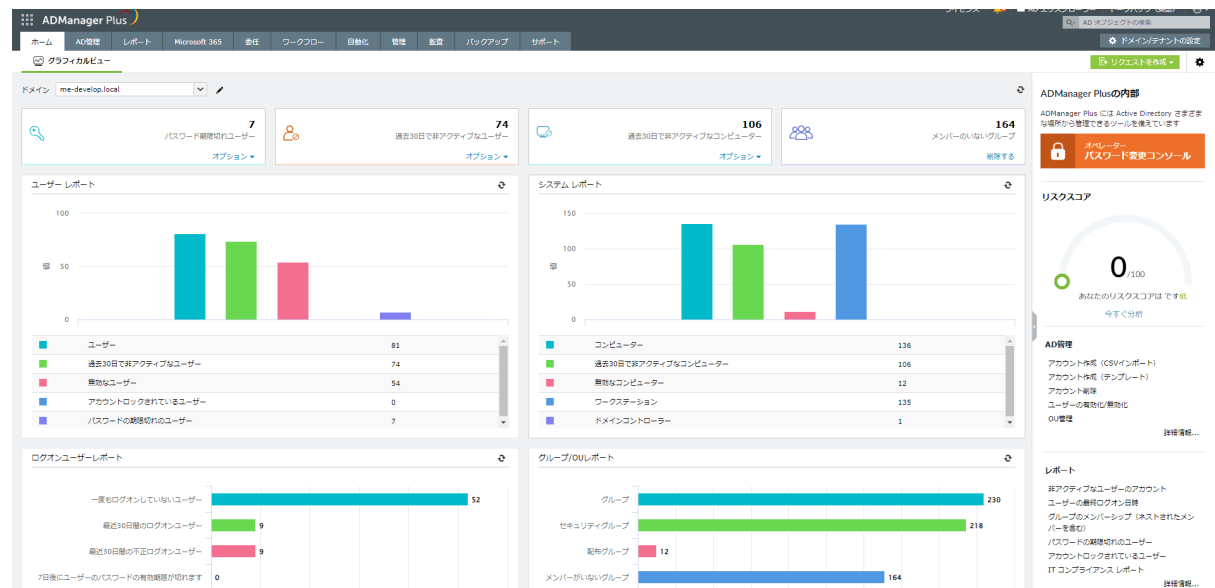
フルネーム	ログオン名	所属するグループ	プライマリグループ	識別名	ドメイン名	SAMアカウント名	メッセージ
daikisato	daikisato@me-develop.local	Domain Users; 1G; みなとみらい「ADMPオペレーターグループ」; ikamitest「みなとみらい」; 2G.	Domain Users	CH=daikisato,CN=Users,DC=me-develop,DC=local	me-develop.local	daikisato	変更しました
demo999	demo999@me-develop.local	Domain Users; 1G; ikamitest「みなとみらい」; 2G.	Domain Users	CH=demo999,CN=Users,DC=me-develop,DC=local	me-develop.local	demo999	変更しました
test_ayako	test_ayako@me-develop.local	Domain Users; 1G; ikamitest「みなとみらい」; 2G.	Domain Users	CH=test_ayako,CN=Users,DC=me-develop,DC=local	me-develop.local	test_ayako	変更しました

7 各タブの解説

7-1 ホームタブ

ホームタブでは、ユーザーレポート、システムレポートなどが表示されます。確認する項目（ユーザー、パスワード期限切れのユーザー、ドメインコントローラーなど）をクリックすることで、オブジェクト情報を素早く取得できます。

例えば、[ユーザーレポート] では、パスワードの期限切れのユーザーなどの情報が表示されます。



7-2 AD管理タブ

各オブジェクト（ユーザー、コンピューターなど）を管理できます。例えば、「ユーザー管理」では、以下のような操作を実施できます。

- 組織用にカスタマイズしたテンプレートをもとに、シングルユーザー/複数ユーザーを作成する
- CSVファイルを用いて複数ユーザーを一括作成/変更する



7-3 レポートタブ

Active Directory上のオブジェクト情報を確認できます。また、レポートで取得したオブジェクトに対して編集や削除などの操作を実施できます。例えば、「最近ログオンしていないユーザー」をレポートで出力し、出力したユーザーを無効化/削除できます。

カスタムレポートを使用することで、デフォルトのレポートでは満たせない組織内のニーズに対応できます。



7-4 Microsoft 365タブ

Microsoft 356の情報のレポート生成やMicrosoft 356の管理を実施できます。

〔レポート〕では、ライセンスのあるユーザーやMicrosoft 365セキュリティグループなどのレポートを取得できます。

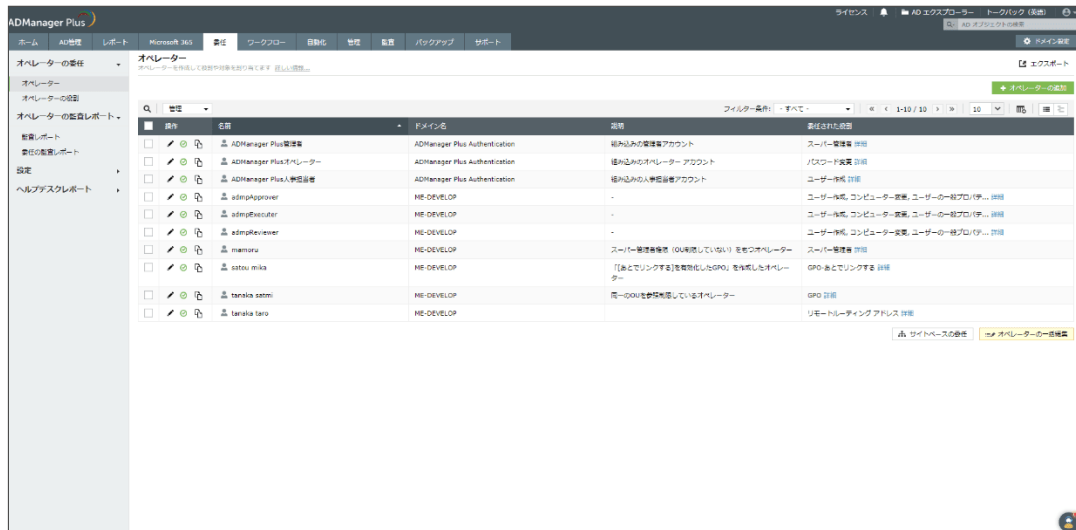
〔管理〕では、既存のActive DirectoryユーザーをMicrosoft 365 アカウントとして作成したり、ライセンスの割当て/削除などの操作を実施したりできます。



7-5 委任タブ

「委任」タブでは、「オペレーター」の管理（権限付与や監査）を実施できます。

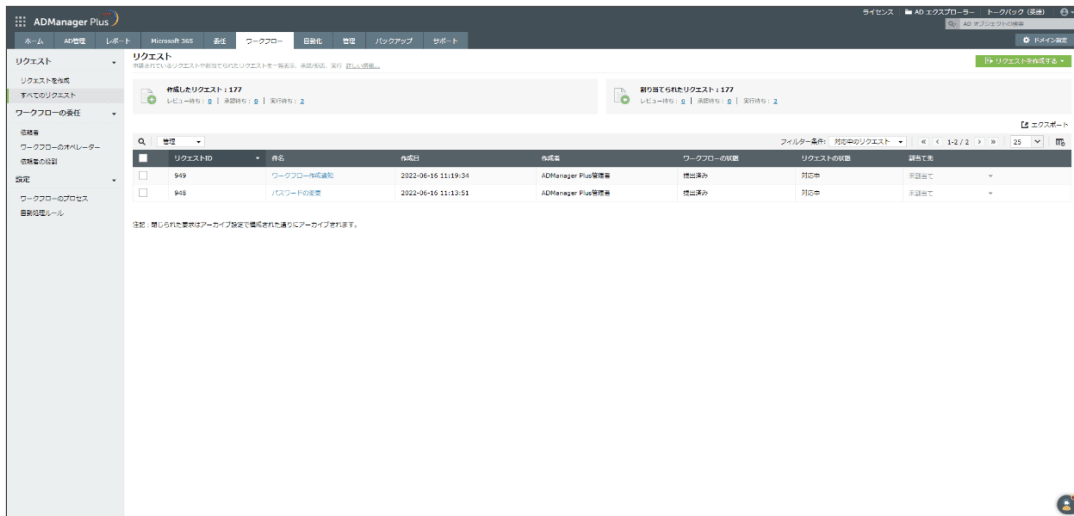
「オペレーター」とは、管理者により特定の権限（ユーザー作成/削除やフルコントロールなど）を与えられたユーザーです。他ユーザーに権限を委任することで管理者の負担軽減につながります。また、特定の権限のみを委任し、ユーザーの活動を監査レポートで確認することで、セキュリティを確保できます。



その他「委任」の詳細は[こちらのページ](#)をご参照ください。

7-6 ワークフロータブ

「リクエスト」の作成や「ワークフロー」の管理を実施できます。



以下、「ワークフロー」機能にて使用される重要な用語を説明します。

- 「リクエスト」：実行したい操作内容（特定のユーザー作成/変更/削除など）を申請することを指します。
- 「依頼者」：ADManager Plusにて依頼者として割り当てられた、リクエストを申請するユーザーです。
- 「レビュー担当者」：依頼者から申請されたリクエスト内容をチェックし、「承認/却下」するユーザーです。
- 「承認者」：レビュー担当者が承認したリクエスト内容をチェックし、「承認/却下」するユーザーです。
- 「実行者」：承認者から承認されたリクエストを実行、または却下するユーザーです。

補足

- 実際にリクエストを実行できるユーザーは「実行者」のみです。
- 「依頼者」および「実行者」は、ワークフローへの登録が必須です。その他のユーザーは未登録に設定できます。

その他「ワークフロー」の詳細は[こちらのページ](#)をご参照ください。

7-7 自動化タブ

オペレーションを自動的に実行するスケジュールを管理できます。定期的に行う業務や人事異動など、事前に把握できる作業に対して「自動化」を設定できます。

また、複数のオペレーションを連続的に実行（「ユーザー作成」→「90日後に無効化」など）する「自動化ポリシー」を作成できます。



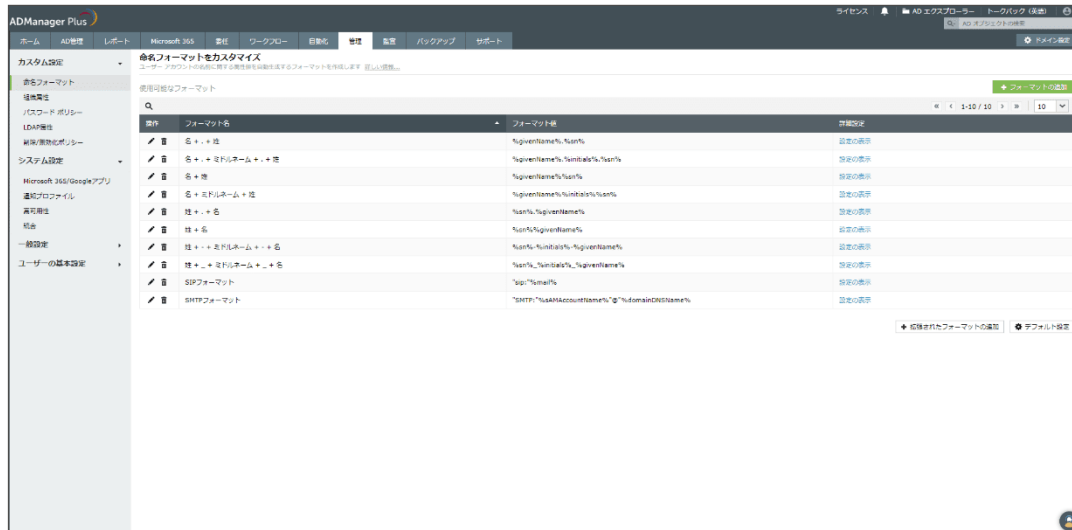
The screenshot shows the 'Automation' tab in ADManager Plus. It displays a table of scheduled tasks with columns for 'Operation', 'Automation Name', 'Schedule', 'User', 'Request Details', and 'Execute Now'. The table lists several tasks, including user creation, password resets, and group management.

操作	オートメーション名	スケジュール	ユーザー	リクエストの詳細	今すぐ実行
<input type="checkbox"/>	ユーザー作成 with パスワードランダム生成	2024-03-29 13:30 に実行	C:\Users	ユーザーの作成	今すぐ実行
<input type="checkbox"/>	部署から技術グループへ移動	2024-03-05 18:35 に実行	C:\Users	ポリシー→部署から技術グループへ移動 (ikamitest)	今すぐ実行
<input type="checkbox"/>	ikamitest	2024-02-29 16:45 に実行	C:\Users	グループから削除	今すぐ実行
<input type="checkbox"/>	tesikamITEMP0229	2024-02-27 13:45 に実行	C:\Users	ポリシー→部署から技術グループへ移動 (ikamitest)	今すぐ実行
<input type="checkbox"/>	testkam0221	2024-04-01 10:05 に実行	C:\Users	ユーザーの作成	今すぐ実行
<input type="checkbox"/>	ikamitestポリシーなしでユーザー追加作成	2024-02-09 13:40 に実行	C:\Users	ユーザーの作成	今すぐ実行

その他「自動化」の詳細は[こちらのページ](#)をご参照ください。

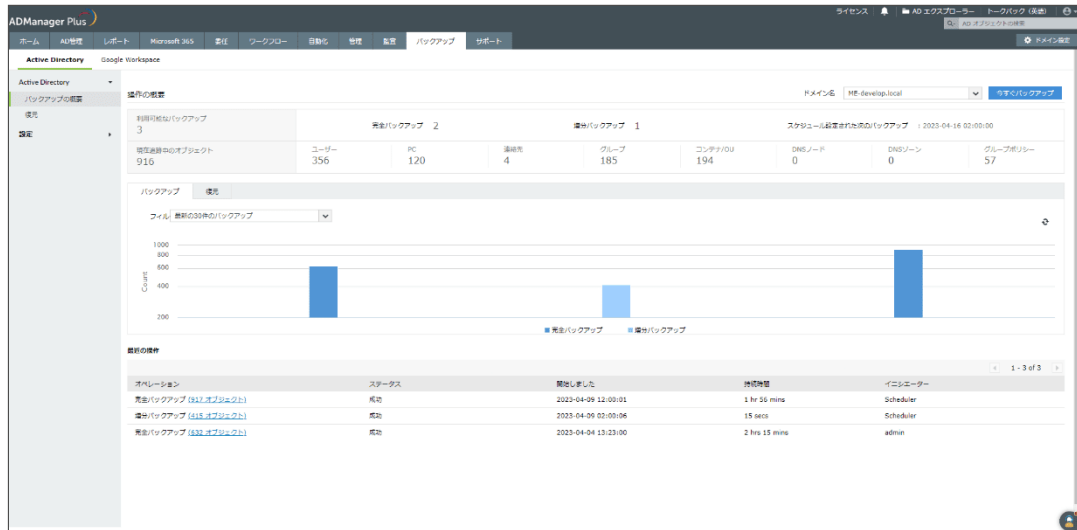
7-8 管理タブ

ADManager Plusの管理を実施できます。命名フォーマットやLDAP属性のカスタマイズ、組織に合わせた会社/部署を事前に設定できます。また、Microsoft 365やGoogle Workspace、メールサーバーの設定も実施できます。



7-9 バックアップタブ

Active Directoryのオブジェクトのバックアップ、リストアを実施できます。フォルダーへアクセス不能になってしまった、または、ログイン不可になってしまったなどの応急措置として、バックアップした設定を復元できます。



すべてのバックアップ機能を利用する場合、オプションライセンスの購入が必要です。オプションライセンスの概要は[こちらのページ](#)をご参照ください。

オプションライセンスを購入しない場合の制限事項の詳細を含めたバックアップに関するFAQは[こちらのページ](#)をご参照ください。

8 トラブルシューティング

ADManager Plusにてエラーが発生した場合、[こちらのページ](#)をご参照ください。その他のトラブルシューティング手順は[こちらのページ](#)にてご確認ください。

9 お問い合わせ

評価版の試用期間/製品ご購入後の技術サポートは、以下のリンクよりご利用ください。

評価版サポート

<https://www.manageengine.jp/support/trial.html>

製品ご購入後のサポート

<https://www.manageengine.jp/support/purchased.html>

会社情報

ゾーホージャパン株式会社 ManageEngine 事業部

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目6番1号 みなとみらいセンタービル13階

ホームページ : <https://www.manageengine.jp/>

ADManager Plus製品ページ :
https://www.manageengine.jp/products/ADManager_Plus/